

「コンビニでギフト券を買って」と指示されたり、詐欺です

～事業所の方へ～

自動火災報知設備の誤作動について

市内の事業所において、自動火災報知設備の誤作動が数件発生しています。

例年、6月の梅雨時期に誤作動が増える傾向がありますので、次の内容を参考に設備の点検を行ってください。



自動火災報知設備とは…

「感知器」が火災の熱や煙をとらえ、各階、各部屋に設置されたベルを鳴動させることにより建物内にいる人に避難を呼び掛ける設備です。また、火災を発見した人が近くの「発信機」のボタンを押すことで、建物全体に警報を発することができます。



感知器等の誤作動について…

自動火災報知設備は、火災以外の要因によって誤作動を起こすことがあります。また、電気回路が不具合（故障）を起こしたり、いたずら等で故意に発信機が押される可能性も否定できません。定期的な点検を実施するとともに、次の事例を参考にして、日ごろから誤作動が発生しないように注意しましょう。

- 1 雨や水配管等から伝わった水滴が感知器内部に浸水する。
- 2 台風等で急激な外気圧の低下が起きる。
- 3 調理、喫煙等で発生する煙のほか、煙に類似している湯気、ホコリ、虫等が感知器内に入る。など



自動火災報知設備の誤作動が頻繁に起きると、警報ベルが鳴っても誰も火災だとは思わず、次第に無関心になっていきます。この状態で、本当に火災が発生した場合に、初期消火、通報、避難の行動が遅れ、建物内の人たちが命を落とすことにもなりかねません。このような事態を防ぐには、自動火災報知設備が誤作動を起こす要因を排除する必要があります。また、警報ベル等が鳴ったら、他人任せにせず、一人ひとりが対応する体制を整えましょう。



火災から大切な命を守るために、 住宅用火災警報器を設置しましょう！

■お問合せ 茨城西南広域消防本部 坂東消防署 予防係
☎ 0297(35)2129